

➤ 2日 火曜

ヨブ記



- 16:18 地よ。私の血をおおうな。
私の叫びに休み場所を与えるな。
- 16:19 今でも天には、
私の証人がおられます。
私を保証してくださる方は
高い所におられます。
- 16:20 私の友は私をあざけります。
しかし、私の目は
神に向かって涙を流します。
- 16:21 その方が、人のために
神にとりなしをしてくださいますように。
人の子がその友のために。
- 16:22 数年もたてば、
私は帰らぬ旅路につくからです。
- 17:1 私の霊は乱れ、私の日は尽き、
私のものは墓場だけ。
- 17:2 しかも、あざける者らが、
私とともにおり、
私の目は彼らの敵意の中で夜を過ごす。
- 17:3 どうか、私を保証する者を
あなたのそばに置いてください。
ほかにだれか
誓ってくれる者がありますでしょうか。
- 17:4 あなたが彼らの心を閉じて
悟ることがないようにされたからです。
それゆえ、あなたは彼らを
高められないでしょう。

ヨブの苦しきは相当なもので、神からも周囲からも攻撃にさらされていると感じずにはいられません。もしも自分にそれだけの非があるのなら納得もできますが、「暴虐がなく」「きよい」との確信があるのですから、主よなぜですかと苦悶の祈りを続けて

いるのです。

神は義には恵みで報い、不義にはさばきで報いるはずで、だからこそ神は正しいと言えるのです。しかし、人はみな罪があるので「報酬は死」です。報酬ではなく賜物を求めましょう。「賜物はキリスト・イエスになる永遠のいのち」なのです。ヨブが求めている「とりなし」は主イエスにあるのです。

ヨブには自分を「保証」してくれる者がいないので、苦しみは増すばかりです。物笑いにされ、つばきをかけられるように侮辱され、絶望によって目やからだまでも影のように衰弱してゆきます。

保証してくれる…それはイエス様のほかにありません。人の保証では聖なる神の前にあてになりません。また私たち罪人憐れんでくださる心が必要です。イエス様の保証によって、どんな苦難のときにも、大胆に神の前に出しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

